

達生堂グループで入職式

達生堂グループの入職式が4月1日、特別養護老人ホーム「ヒューマン・ハウス」2号棟で行われました。グループ合同の入職式は、コロナ禍のために2020年度から行われておらず、4年ぶりの合同入職式となりました。

新入職員は、城西病院が23人（うち外国人技能実習生4人）、社会福祉法人達生堂の特別養護老人ホーム「ヒューマン・ハウス」が9人（同4人）、介護老人保健施設「すばる」が5人（同2人）が新たに仲間に加わりました。

入職式で城西病院の白石裕比湖理事長は「一人一人が達生堂の顔となって頑張ってもらいたい。笑顔で元気よくあいさつできるのがスタート」、藤田善幸院長は「外国人技能実習生も加わり、グローバルになった。社会の求めに答えるために、人材を育てるためのキャリアアップと仕事の効率化を目指したい」、社会福祉法人の永島覚一センター長は「仕事に誇りを持ち、人に優しく仕事をしてほしい」と激励。新入職者を代表し、看護部の松本梨沙看護師は多田正毅会長を前に「先輩方のご指導のもと、技術や知識の向上を目指したい。患者様やご家族の気持ちに寄り添える医療従事者となるために日々精進します」と決意を語りました。

2024年4月1日



新入職者を代表して決意を述べる松本看護師



白石理事長



藤田院長



永島センター長

